

重

次代を担う

「水素等環境関連産業育成・集積戦略」

点

山口県の瀬戸内沿岸地域には、次世代産業として発展が期待できる水素エネルギー等の環境関連分野に取り組む企業が集積しています。

本県の強みである水素の利活用や環境・エネルギー産業クラスターの形成等を進め、水素等環境関連産業の集積を図ります。

戦

プロジェクト

- ◇環境・エネルギー産業クラスターの形成
- ◇水素利活用による産業振興と地域づくり
- ◇再生可能エネルギーの導入促進

略

プロジェクト	No	環境・エネルギー産業クラスターの形成
	1	

目標	産学公や企業間連携による活発な研究開発・事業化の実現 ≪環境・エネルギー分野での事業化件数 5年間(平成25～29年度)で13件≫
----	--

現状と課題

- 優れた立地環境
 - ・ 瀬戸内沿岸地域に高い省エネ技術を有する基礎素材型産業の集積
 - ・ 環境・エネルギー関連などの高い機能性を有する素材・部材の供給基地
- 県内企業の環境・エネルギー分野の取組が活発化
- 研究開発、事業化に向けた更なる取組の加速化が必要

取組方針

- 環境・エネルギー産業クラスターの形成に向けて、全県的な推進体制により環境・エネルギー産業の育成・集積を促進します。
- 新たな研究開発や事業化を支援します。
- 研究開発機能を強化し、企業の先導的な取組をサポートします。
- 革新的技術を活用した新たなサービス等により、新事業展開に取り組むベンチャー企業の円滑な立ち上げを支援します。
- 成長が期待される分野の企業の設備投資を支援するなど、重点的な企業誘致活動を展開します。

具体的な取組

取組	<input type="checkbox"/> 全県的な推進体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・ 産学公金が参画する「やまぐちイノベーション推進協議会」の運営 <input type="checkbox"/> 「環境・エネルギー産業クラスター構想」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国による地域イノベーション戦略推進地域の指定 ・ 国等の競争的資金の優先採択 ・ イノベーション推進センターの運営 <input type="checkbox"/> 新たな研究開発・事業化への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「やまぐち産業戦略研究開発等補助金」や国等の競争的資金を活用した研究開発・事業化支援 ・ スマートファクトリーモデルの普及 <input type="checkbox"/> 研究開発機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 先進的な研究開発拠点機能の整備 <input type="checkbox"/> 次世代ベンチャー企業の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・ 産学公金が連携した取組等により生まれてきた革新的技術を活用した新事業展開に取り組むベンチャー企業の円滑な立ち上げの支援 <input type="checkbox"/> 重点的な企業誘致活動の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 優れた立地環境を活かした戦略的な企業訪問の実施、情報発信等 					
	工程表	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度
	全県的な推進体制の構築	<やまぐちイノベーション推進協議会> ● 設置(6月)	運営(産学公・企業間連携による研究開発・事業化の促進) ● 首都圏セミナー(2月)			→
	「環境・エネルギー産業クラスター構想」の推進	<環境・エネルギー産業クラスター構想> 策定(4月)	● ● 国による地域イノベーション戦略推進地域の指定等(7月) ● 国等の競争的資金の優先採択 ● 設置	● イノベーション推進センターの運営 ● 地域イノベーション戦略支援プログラム ● キックオフセミナー(11月)	● 地域間連携産学 ● マッチングセミナー(11月)	→

	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度	平成29年度	
工程表	新たな研究開発・ 事業化への支援	〈やまぐち産業戦略研究開発等補助金等〉 ●創設		研究開発・事業化の促進		→	
			スマートファクトリーモデルの整備		県内工場への展開	→	
	研究開発機能の 強化	〈先進的な研究開発拠点機能の整備〉 ●要望(6月、11月) ●産業技術センター第2期中期計画の策定(3月)	●要望(6月、11月)	●要望(6月、11月) ●金属3Dプリンター導入(2月)	●要望(5月、11月) ●産業技術センターにおける 水素関連技術支援拠点の 機能強化(9月)		→
							→
次世代ベンチャー 企業の創出				●支援制度の創設	新事業展開の促進	→	
重点的な企業誘 致活動の展開	優れた立地環境を 企業誘致ウェブサイトや専門紙等による情報発信 ●首都圏セミナー(2月)	活かした戦略的な企業訪問の実施				→	

事業の概要

環境・エネルギー産業クラスターの形

重点的な企業誘致

イノベーション創出分野

地域エネルギー創造

エネルギー創出に関する技術開発等

・水素製造技術、再生可能エネルギー創出技術 等

地域エネルギー貯蔵・利活

水素等の利活用技術の開発等

・燃料電池、ゾーシステム、二次電池用材料 等

省エネルギー・環境負荷

省エネルギーに関する技術開発等

・パワー半導体部材、環境関連製品 等

やまぐち産業戦略研究開発等補助金等

国等の競争的資金

やまぐちイノベーション推進協議会

山口県経営者協会
山口県経済同友会
山口県商工会議所連合会
山口県商工会連合会
山口県中小企業団体中央会

山口大学
山口東京理科大学
山口県立大学

産学公金の連携

やまぐち産業振興財団
山口県産業技術センター
山口県

㈱山口銀行
㈱西京銀行
㈱日本政策投資銀行

イノベーション推進センター(環境・エネルギー推進チーム)

プロジェクトプロデューサー

(全体のマネジメント)

民間企業から招聘

サブリーダー

(競争的資金獲得支援等)

コーディネータ

(企業・大学等訪問、マッチング活動)

※山口県産業技術センター内に設置

プロジェクト	No	水素利活用による産業振興と地域づくり
	2	

目標	瀬戸内コンビナート生成の水素を活かした「水素先進県」の実現 ≪水素ステーションの誘致 平成31年度までに2箇所≫ ≪水素利活用による事業化件数 5年間(平成25～29年度)で8件≫ ≪水素利活用によるスマートコミュニティモデルの創出≫
----	--

現状と課題

- 瀬戸内コンビナートにおける大量かつ高純度の水素の生成
- 中・四国、九州地方で初となる液化水素製造工場の操業開始(平成25年6月)
- 水素を活用した本県産業の振興や地域づくりが課題

取組方針

- 水素ステーション等水素利活用の基盤となる水素製造・供給インフラの整備を促進します。
- 水素利活用の研究開発や事業化、水素の多角的な利用を促進し、産業振興を図ります。
- 水素利活用による地域づくりを進めます。

具体的な取組

◆水素製造・供給インフラの整備促進

取組	<input type="checkbox"/> 「水素ステーション」の誘致等					
工程表	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度	平成29年度
	水素ステーションの誘致等	●●●●●● 要望(6月、11月) ●●●●●● 事業者による 国庫補助金申請	●●●●●● 要望(6月、11月) ●●●●●● 採択(県内初の 誘致決定)(4月) 水素ステーション	●●●●●● 要望(6月、11月) ●●●●●● 設置・操業(8月)	●●●●●● 要望(5月、11月)	●●●●●● 要望(5月、11月)

◆水素利活用による産業振興の推進

取組	<input type="checkbox"/> 水素利活用の研究開発・事業化への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「やまぐち産業戦略研究開発等補助金」(水素利活用製品等の研究開発・事業化助成制度の新設)や国等の競争的資金を活用した研究開発・事業化支援 ・革新的技術を活用した新たなサービス等により、新事業展開に取り組むベンチャー企業の円滑な立ち上げの支援 <input type="checkbox"/> 研究開発機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・先進的な研究開発拠点機能の整備 					
工程表	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度	平成29年度
	水素利活用の研究開発・事業化への支援	●●●●●● 創設(10月)	●●●●●● 研究開発・事業化の促進	●●●●●● 水素利活用製品等の研究開発・事業化助成制度の新設・活用	●●●●●● ベンチャー企業に対する支援制度の創設	●●●●●● 新事業展開の促進

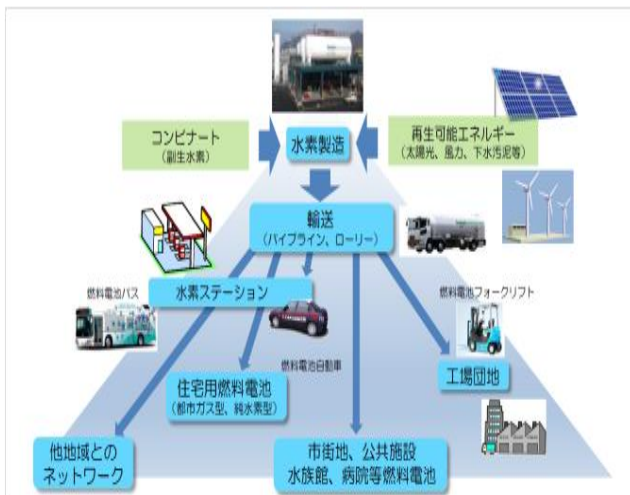
工程表	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度	平成29年度
	研究開発機能の強化	●●●●●● 要望(6月、11月) ●●●●●● 産業技術センター第2期中期計画の策定(3月)	●●●●●● 要望(6月、11月)	●●●●●● 要望(6月、11月)	●●●●●● 要望(5月、11月)	●●●●●● 先進的な研究開発 拠点機能の整備 ●●●●●● 産業技術センターにおける水素関連 技術支援拠点の機能強化(9月)

◆ 水素利活用による地域づくりの促進

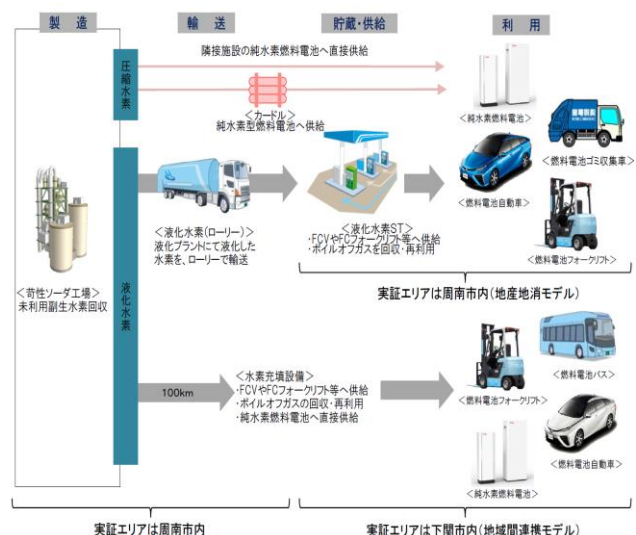
取組	<ul style="list-style-type: none"> □ 全県的な推進体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・「やまぐち水素成長戦略推進協議会」の運営 □ 水素ステーションを核とするまちづくりモデルの普及 <ul style="list-style-type: none"> ・水素供給事業者、関係市と共同で水素サプライチェーンの地域モデル実証の実施 □ 水素利活用のための環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・保安基準の制定要望や水素インフラ整備に対する支援制度の創設など □ 燃料電池自動車や燃料電池の導入促進 <ul style="list-style-type: none"> ・燃料電池自動車の県公用車への導入、市町の購入費助成への支援 ・燃料電池フォークリフトやバスの導入促進、公共施設や集合住宅等への定置式燃料電池の導入促進 					
	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度	平成29年度
工程表	全県的な推進体制の構築	〈やまぐち水素成長戦略推進協議会〉		● 設置(11月) ● 運営 ● 開催(2月) ● 誘致 ● 開催(11月)		
	水素ステーションを核とするまちづくりモデルの普及	〈周南市〉	● 「周南市水素利活用構想」策定(4月)	● 「周南市水素利活用計画」策定(4月)	● 環境省委託事業採択(4月)	● 水素サプライチェーン実証 ● 普及・事業化検証 ● 地域づくり促進支援
	水素利活用のための環境整備	● 要望(6月、11月)	● 要望(6月、11月)	● 要望(6月、11月)	● 要望(5月、11月)	
	燃料電池自動車や燃料電池の導入促進	● 要望(6月、11月)	● 要望(6月、11月)	● 要望(6月、11月)	● 要望(5月、11月)	● 支援制度等を活用した導入促進

事業の概要

水素利活用による地域づくり(イメージ)



環境省委託事業「地域連携・低炭素水素技術実証事業」(イメージ)



プロジェクト	No	再生可能エネルギーの導入促進
	3	

目標	再生可能エネルギーの導入促進による産業振興 ≪再生可能エネルギーの発電出力 100万kW（平成31年度）≫ ≪EV急速充電器の設置数 150基（平成31年度）≫
----	--

現状と課題

- 資源の枯渇のおそれや地球温暖化が進行する中、再生可能エネルギーの導入を最大限に加速化することが必要
- 本県には、再生可能エネルギー関連の製品・部材・素材または技術を有する企業が集積しており、地域のポテンシャルを活かす取組が必要

取組方針

- 太陽光・太陽熱・地中熱・森林バイオマスエネルギーの利用や中小水力発電による再生可能エネルギーの導入を促進します。
- 電気自動車(EV)の導入促進を図るため、充電インフラの整備促進に努めます。

具体的な取組

取組	<input type="checkbox"/> 環境やまぐち推進会議による取組の推進 <input type="checkbox"/> 太陽光・太陽熱・地中熱・森林バイオマスエネルギーの利用や中小水力発電による再生可能エネルギーの導入促進 <input type="checkbox"/> EV等次世代自動車・インフラの導入促進					
	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度	平成29年度
工程表	環境やまぐち推進会議による取組の推進	● 再生可能エネルギー部会の設置(11月)		● 関係機関の連携による再エネの導入促進		
	様々な再生可能エネルギーの導入促進	◁防災拠点等に再生可能エネルギー等を導入推進▷				
			● 山口県再生可能エネルギー等導入推進基金の造成(10月)	● 公共施設等への再エネ等の導入		
	太陽光、太陽熱、地中熱エネルギーの導入促進	● 県産再エネ製品導入補助金の創設(4月)		● 県産再エネ製品の導入支援		
		● シンポジウム(8月)	● シンポジウム(8月)	● シンポジウム(8月)	● シンポジウム(8月)	● シンポジウム、アドバイザー派遣等による普及啓発
	森林バイオマスエネルギーの活用促進	●	● 森林バイオマス発電、木質ペレットボイラー等に利用する間伐材等の低コスト収集運搬システムの構築・定着化			
	●		● 間伐材供給コスト支援、収集運搬・供給施設整備等支援			
水力発電の供給力の確保・向上	◁平瀬発電所▷ 調査設計			● 着工(8月) 建設 ◁リパワリング▷		
				● 供給力増強調査(2ヶ所)	● リパワリング工事(2ヶ所)	

